

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1253号	氏名	平井康子
論文審査担当者		主査教授	片峰茂
		副査教授	進藤裕幸
		副査教授	永山雄二
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価 本研究は、関節リウマチ（RA）の病態のうち骨軟骨組織破壊に関与すると考えられるマトリックスメタロプロテアーゼ2型（MMP2）活性化における一酸化窒素（NO）の役割を解明しようとしたものであり、研究目的は妥当である。			
2. 研究手法に関する評価 RA患者および対症としての変形性骨関節症（OA）患者より得た滑膜組織由来の培養細胞を実験材料とした点、NO刺激としてNOドナー薬剤（SNAP）を用いた点、およびMMP活性とmRNA発現レベルをそれぞれゼラチンザイモグラムとRT-PCRにより測定した点など、用いた手法は適切である。			
3. 解析・考察の評価 実験結果よりRA特異的にNOがMMP2の活性化を誘導すると結論づけた考察の過程も妥当である。このRA特異的な反応性を何が規定しているのかが今後の大きな興味である。またMMPを標的としたRA治療薬開発の可能性に言及した点も評価できる。			
以上のように、本論文はRAの病態解明さらに治療法開発にきわめて大きな貢献をなしたものであり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			